学校番号	３０３２B

令和８年度　　福祉科

教科	福祉	科目	社会福祉基礎	単位数	2	年次	2年次後期
使用教科書	社会福祉基礎（実務出版）						
副教材等	社会福祉基礎　学習ノート（実務出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これから地域社会で生活されている人々の「ふだんの暮らしのしあわせ」について、みなさんと一緒に考えていきましょう。社会で起こっている福祉に関する諸問題について、新聞記事、テレビニュース、Web 等から興味や関心の幅を広げましょう。手話や要約筆記の実習、地域の福祉施設でのボランティアや介護実習に意欲的に取り組んでください。

2　学習の到達目標

・社会福祉に関する基礎的な知識を習得し、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解する
・人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上を図る能力と態度を育てる。
・学習内容やその振り返り等を踏まえたうえで、習得した知識や考えたことを生かし、社会の一員として自身の進路選択や今後の人生に生かすことできる。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代社会のおける社会構造の変容や特色について理解し、社会福祉に関する基礎的な知識を身に付けるとともに、社会福祉の意義や役割を理解している。社会福祉に関する基礎的な技術を身に付け、福祉に関する諸活動に対応することをめざしてその技術を適切に活用している	日常生活から派生する社会福祉に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、福祉に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	社会福祉に関心を持ち、福祉社会に向けた課題に主体的に取り組むとともに、社会福祉に関する幅広い視野と福祉観や社会福祉の向上を図る実践的な態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	生活と福祉	・少子高齢化と人口減少社会の到来 ・地域社会の変化 ・生活の変化 ・疾病構造の変化と国民の健康づくり ・人の一生と社会福祉	a: 家庭生活の機能や概要､少子高齢化の進行と介護の社会化との関連について様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 b:家庭生活の機能や概要､少子高齢化の進行と介護の社会化との関連について思考を深め、適切な知識と技術を基に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 家族や地域の機能と役割の変化、ライフスタイルの変化や健康に関する考え方について関心をもち、生活と福祉について探求しようとしている。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査	授業の振り返り 授業の取り組み態度
	要約筆記	・要約筆記とは ・聴覚障害の基礎知識 ・要約筆記のいろんな方法 ・パソコンを用いた要約筆記	a: 聴覚障がいや要約筆記に関心をもち、パソコンを用いた要約筆記の必要性についても認識している。 b:聴覚障がいや要約筆記に関心をもち、要約筆記の知識や様々な方法を生かす工夫をしている。 c:聴覚障がいや要約筆記に関心をもち、実習にも意欲的に参加している。	実習に関するレポート 定期考査	実習に関するレポート 定期考査	実習の振り返り レポート 実習の取り組み態度